

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2010年5月2日現在

概況 オレゴン州の2010年5月2日に終る1週間の気象は、全州にて降雨を伴う平年を下回る気温の気象であった。Willamette Valleyの最高気温は59~65度F、最低気温は35~42度Fで、平均気温は平年を2~4度F下回った。1週間の降水量は1.02~4.10(Detroit Lake)インチであった。全ての観測所にて1.0インチ以上の降水量を記録した。NC地区の最高気温は59~68度F、最低気温は27~37度Fであった。1週間の降水量は0.06~0.45インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は3.9日(前週:4.6日)であった。Topsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より“Surplus”が増加し、“Adequate”が減少した。降雨と強風で農作業が中断したが、土壌水分の“Surplus”は“Short”より良いと言える。Willamette Valleyの春小麦の播種は降雨と軟弱土壌の為遅れを出していた。NC地区の乾燥地帯の降水量は平年を上回り(Sherman郡の昨年9月1日からの積算降水量は1.25インチであり、平年の0.41インチを大きく上回っていた)良好な土壌水分であるが、気温が低く冬小麦の生育は遅れ勝ちであった。春小麦の播種は昨年より早い進捗であり、出芽は順調であった。出芽後の順調な生育のため気温の上昇が望まれた。各地で強風が起こり、農薬の撒布が中断した。冬小麦の作柄は前週より改善した。

### 土壌水分(\*)

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	0	5	68	27
Last week (%)	0	7	77	16
Subsoil (%)	1	14	65	20
Last week (%)	0	14	72	14

### 冬小麦の作柄状況(\*)

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	0	4	35	50	11
Last week (%)	0	4	42	43	11

### 春小麦の生育状況(\*)

Spring wheat	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Planted (%)	94	92	85	91
Emerged (%)	76	64	50	65

\*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2005,2006,2007,2008 and 2009 crop years

以上